

日本学術会議 課題別委員会  
自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会  
防災分野の国際協力に関する基本戦略分科会（第4回） 議事要旨

1. 日 時：平成22年9月13日（月） 15:10～16:10
2. 場 所：日本学術会議 6-C(1)会議室
3. 出席者：（委員）池内、池田、市村、沖村、塚原、直井、中邨、南、  
林（勲）、  
（小委員会委員）池内、中川、（オブザーバー）舘  
（事務局）田中
4. 議 題：1）前回議事要旨の確認  
2）基本戦略の検討
  - ・基本認識・対象、目的、目標の整理
  - ・国際戦略の構築
  - ・検討課題の整理
  - ・その他
5. 資料：資料1 第3回分科会議事要旨  
資料2 基本戦略分科会検討課題（案）
6. 議事要旨
  - （1）議題 1）前回議事要旨の確認  
出席者により前回議事要旨（案）を確認し、了承した。
  - （2）議題 2）基本戦略の検討  
池田委員長から、国際協力の基本戦略の構築、国際協力体制の検討について資料2により説明が行われ、以下の点について議論が行われた。
    - ・国際協力の目的は、途上国の防災能力向上の自助努力への支援により、世界が発展し安定することによる安全保障の確立による生じる結果としての国益の追求であり、狭義の国益追及と誤解されないよう気をつける必要
    - ・わが国でも「自然災害はなくなったわけではなく」のレベルではなく、気候変動、都市化、要支援者の増大により、むしろ自然災害が増大しているとの基本認識が必要
    - ・直接的被害だけでなく social risk management の観点からの確保すべき安全性の視点が必要

- 検討課題は内容が多岐にわたるので、フレームのとりまとめが必要。別途役員会でフレームのとりまとめを行う必要
- 日本では災害対策には自治体の役割が大きいが、途上国ではそれぞれの特性に合わせてコミュニティーやNGO、また都市部では民間セクターなども活用する必要、全てを政府機関、地方自治体で対応するのは困難
- 研究開発と現地展開（研究者と実務者）のすり合わせの必要性
- 主催シンポジウムでは省庁からの講演を検討していようだが、防災ということであれば内閣府の危機管理や防災担当も要検討

(以上)